



2023年5月8日

各位

会社名 株式会社 T O R I C O
代表者名 代表取締役社長 安藤 拓郎
(コード番号：7138 東証グロース市場)
問合せ先 上級執行役員管理部長 中道 智宏
(TEL. 03-6261-4346)

本社移転に伴う特別損失の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）において、下記のとおり、本社移転に伴う特別損失を計上する見通しのため、お知らせいたします。

また、2022年11月11日に公表いたしました、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の連結業績予想につきまして、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

1. 本社移転に伴う特別損失の計上について

(1) 本社移転の目的

当社は、事業規模の拡大と共に、手狭となった現行の倉庫一体型の本社機能を拡張する必要が生じてきた中で、本社オフィス機能と倉庫機能の分離による各機能の効率化を図る事にいたしました。

本社オフィス機能は今回の移転により、ハイブリットワークの更なる推進とオフィス環境の整備による業務効率化及び生産性の向上、優秀な人材の確保促進を図ります。

また、倉庫機能は今回の移転により、点在していた複数倉庫の集約による作業効率の向上と在庫保管面積の拡大による品切れから生じる機会損失の低減を目的としています。併せてイベントサービスの商材となるグッズの製造機能と倉庫機能を一体化し、製造から物流まで一層の業務効率化を図ります。

(2) 移転先・移転時期

① 移転先

東京都千代田区内予定

② 移転時期

2023年9月～10月予定

(3) 本社移転に伴う特別損失

本社移転に伴い、2023年3月期において現本社の建物附属設備の減損損失として18百万円を特別損失に計上する見込みです。

(4) 業績に与える影響

下記「2. 連結業績予想の修正について」に織り込み済みです。

(5) その他

移転前の本社所在地と移転先は同一区内であるため、本店移転に伴う定款の変更はありません。

2. 連結業績予想の修正について

(1) 2023年3月期通期業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,398	百万円 167	百万円 168	百万円 115	円 銭 92.87
今回修正予想(B)	5,004	130	128	74	27.60
増減額(B-A)	△394	△37	△39	△41	—
増減率(%)	△7.3	△21.8	△23.4	△35.3	—
(参考)前期実績 (2022年3月期)	5,390	199	207	152	241.21

(2) 修正の理由

当社2023年3月期の売上高は、下半期(2022年10月～2023年3月)において、映画「THE FIRST SLAM DUNK」の大ヒットによる原作コミック需要が高まった事や、行動制限の解除等によってイベントサービスが拡大した事で、前年同期比で増収を確保したものの、今期発生している巣ごもり需要の沈静化による紙コミック市場減速の影響が下半期も想定以上に強く、上半期の減収分を補うまでに至らず、通期の売上高は、11月に公表した前回予想を394百万円ほど下回る見通しです(前回予想比7.3%減)。

営業利益・経常利益につきましては、上記の理由による前期からの売上高減少により、変動費用の減少があったものの、海外市場を含む更なる成長に向けたイベントサービスの店舗拡大や自社サービスの開発に必要な人材の採用活動を強化し、人的投資や設備投資を予定通り実行した事で、通期の営業利益は、11月に公表した前回予想を37百万円ほど下回り(前回予想比21.8%減)、経常利益は前回予想を39百万円ほど下回る見通しです(前回予想比23.4%減)。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、本日(2023年5月8日)に公表いたしました特別損失の計上に関するお知らせのとおり、本社移転に伴う資産の減損損失を計上いたしました結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を41百万円ほど下回る見通しです(前回予想比35.3%減)。

以上から、当社2023年3月期の連結売上高、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の業績予想について修正をいたします。

(業績予想について)

上記の予想数値は、本資料発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって上記予想値と異なる可能性があります。

以 上